

令和3年度 全国学力・学習状況調査

豊頃町の児童生徒の学力や生活習慣は？

令和3年5月に小学校6年生と中学校3年生を対象に、国語・算数（数学）で全国学力・学習状況調査が実施され、分析結果が示されました。この結果を基に教育委員会・教育研究所では、町内各校の学力のより確実な定着に向けた取組を尊重しつつ、豊頃町全体の教育環境づくりの観点から、子どもの学びを育む学校、家庭、地域の更なる連携に期待をし、次のとおり分析結果をまとめました。

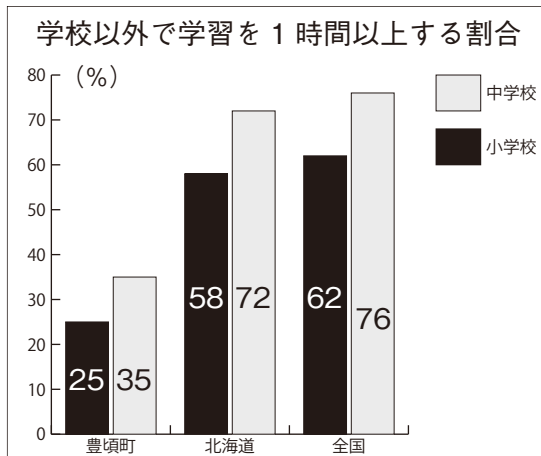
問合せ先

豊頃町教育委員会・豊頃町教育研究所
☎ 579・5801

豊頃の子どもの学力等の傾向

＜小学校＞国語は全体正答率が全道・全国平均をやや下回る結果となりました。国語では「思考・判断・表現」の領域で平均を下回りましたが、その他の領域は全道・全国平均と大差はありませんでした。算数は全道・全国平均とほぼ同様の結果となりました。「図形」「データの活用」に苦手意識があるようです。他の内容に大差はありませんでした。

＜中学校＞国語・数学ともに全道・全国平均を下回る結果となりました。国語は「書くこと」領域が平均を上回り、他の領域で下回る結果となりました。数学では、「関数」が全道・全国平均を上回り、「図形」はほぼ同様、「数と式」「資料の活用」の内容では下回る結果となりました。



教科ごとの傾向

小学校		中学校	
国語	◇「知識および技能」の観点では全国平均とほぼ同様ですが、「思考・判断・表現」で下回っています。特に、記述式問題への苦手意識が見られます。字数制限や指定単語使用等の条件付記述に大きな課題がみられます。	国語	◇「漢字」や「話し合いに関する問題」「わかりやすい文章構成に関する問題」については、概ね定着が図られています。 ◇一方、「語彙力」や「問いの意図、何をどのように答えたらよいかを把握する力」「いろいろな種類、文体の文章に対応する力」の内容に課題がみられました。
	◇「数と計算」「量と測定」「変化と関係」については、概ね定着が図られていますが、「図形」「データの活用」において課題がみられました。 ◇「図形」「データの活用」にもみられますが、思考の過程を言葉や式で説明する問題に課題がみられます。いずれの教科にもいえますが、自身の思考や判断の根拠を言葉で説明＝表現することに対して苦手意識があるようです。		◇「知識」に関する問題では、正答率が高く定着が図られています。 ◇一方、理由や説明を答える「記述式」の問題での苦手意識が高くなっています。
算数		数学	

